

# 京都観世会五月例会

令和2年5月24日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



主催 公益社団法人 京都観世会

頼政 〈能〉

橋本擴三郎

棒縛 〈狂言〉

小笠原 匡

千手 〈能〉

浦田保浩

舍利 〈能〉

田茂井廣道

謡曲之舞

## 会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44 (東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み ☎ 075-771-6114

WEBサイトの公演情報からご予約ができます  
<http://www.kyoto-kanze.jp>

チケットぴあでのご購入ができます  
Pコード: 498-567

前売券 (1階当日指定席) 6,000円  
当日券 (1階当日指定席) 6,500円  
学生券 (2階自由席) 3,000円

### 京都観世会館案内図



- ◆京都観世会館へは
- JR京都駅から
- 市バス[5][100]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
徒歩約3分 (乗車時間約30分)
- 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて東西線に乗り換え  
「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
- 阪急京都河原町駅から
- 市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車  
徒歩約5分 (乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から
- 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
徒歩約3分 (乗車時間約7分)
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
- JR二条駅から
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9~17分)
- 地下鉄東西線「東山駅」から
- ①番出口から徒歩約5分
- ◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

# 京都観世会五月例会

## 頼政

橋本擴三郎 (能)  
 旅僧 福王和幸 大鼓 山本哲也  
 小鼓 曾和鼓堂 首鹿 取希世  
 間 所ノ者 泉 慎也

## 棒縛

(狂言)  
 太郎冠者 小笠原 匡 主人 泉 慎也  
 次郎冠者 山本 豪一

(二時十五分頃)

休憩二十分

## 千手

平重衡 深野 貴彦 (能)  
 浦田 保浩 狩野 介宗 宝生 欣哉  
 鄧曲之舞

休憩十五分

(仕舞)  
 生田 敦盛 キリ 浅井 通昭  
 楊貴 妃 河村 晴久  
 善知 鳥 味方 晴玄  
 鶴之 段 橋本 雅夫

## 舍利

草駄天 河村 和貴 (能)  
 田茂 井廣道 旅僧 岡 充 大鼓 谷口 正壽  
 間 能力 小笠原 匡 小鼓 林 大輝  
 大鼓 前川 光範  
 笛 齊藤 敦

## 後見・地謡

(後見) 橋本 光史 谷 弘之助  
 大江 又三郎 (地謡) 河村 浩太郎 越賀 隆之  
 杉浦 豊彦  
 吉田 篤史 浦田 保親

(後見) 安田 典幸

(後見) 深野 新次郎 浦田 親良  
 片山 九郎右衛門 (地謡) 樹下 千慧 青木 道喜  
 宮本 茂樹 河村 和重  
 松野 浩行 河村 晴道

(地謡) 寺澤 拓海  
 大江 信行  
 片山 伸吾  
 河村 和晃

(後見) 味方 團 河村 紀仁 浦部 幸裕  
 林 宗一郎 (地謡) 大江 広祐 河村 博重  
 梅田 嘉宏 古橋 正邦  
 橋本 忠樹 吉浪 壽晃

## 解説

頼政 諸国一見の旅僧が宇治に着く。一人の老人がやってきたので名所旧跡を尋ねると、名所を教え、平等院へ案内し「昔、この所で源頼政が扇を敷き自害をなされた。名將の旧跡だからと扇の形に芝を残し、今でも「扇の芝」というのです」と教える。僧が回向をすると、老人は喜び「私は実は頼政の幽霊である」と名乗り消える。  
 (中人) やがて法体の身に甲冑を帯びた老武者・頼政が現れ、回向を頼む。そして宮殿の起り、宇治に陣を構えた模様を語る。また宇治川をはさんでの源平の戦い、中にも平家の田原又太郎が三百余騎で川を押し渡ったため、源氏は最期の戦を壮絶に行なったことなどを仕方語りに見せる。そして「埋れ木の花咲くこともなかりしに、身のなる果はあはれなりけり」と辞世の歌を詠んで自害したことを述べ、僧に今一度回向を頼み、頼政の霊は扇の芝の草の陰に消えてゆく。

## 千手 鄧曲之舞

平重衡は、一の谷の合戦で生け捕られて鎌倉へ護送された。狩野介宗茂に預けられていた。源頼朝はこの平家の御曹子に同情を寄せ、手越の宿の長者の娘である白拍子千手の前をつかわし、これを慰めた。ある春の夜、宗茂が重衡に酒を勧めようとするところへ、千手も琵琶・琴を持って訪れる。重衡は先日千手を通して頼朝に願ひ出た出家の望みが叶わぬことを告げられながら、南都(奈良)の仏寺を焼いた罪業の報いかと悔い嘆く。折柄、宗茂が雨の夕べの徒然を慰めようと、酒を持ってきたので、千手も、たとえ十悪の身なりとも、浄土へ舞を舞って重衡の心を慰めせ、夜が更けてゆく。しかし、やがて重衡は勅命によってまた都へ送り帰されることとなり、鎌倉を立出される。千手は涙ながらにそれを見送る。

## 舍利

出雲の国、美保の関の僧が洛陽の仏閣を見ようと都へ上る。東山泉涌寺に行き、聞き及んでいる十六羅漢や仏舍利を見るため、寺の能力に案内を頼み仏舍利を拝んでいると、里人がどこからともなく現れ、一緒に仏舎利を拝んでいる。寺の辺りに住むその男は仏法東漸のこと、靈鷲山のことなどを語る。不思議なことに、にわかにかき曇り、稲妻が光る。男の顔色は変わり鬼の形相になり、実は足疾鬼の執心であり今もこの舍利に望みがあると叫び、舍利殿に飛び入り、舍利を奪い、天井を蹴破って虚空に飛び去る。  
 (中人) 物音に驚いた能力は舍利殿に行き、舍利が奪われたことに気づく。僧は能力から、昔、釈迦入滅の時に足疾鬼が現れ牙舍利を奪って飛び去ったが、草駄天が取り返した話を聞く。僧と能力は草駄天に折る。すると舍利を奪い取った足疾鬼が悠然と現れるが、続いて仏法の守護者である草駄天が現れ、天界に追い上げ下界に下し舍利を奪い返すと、足疾鬼は力も尽き消え失せ

## お客様へお願い

- ◆特別会員席以外の座席券は、当日午前10時から先着順にお引換えいたします。
- ◆前売券の予約状況により、当日券の発売を取りやめる場合がございます。
- ◆上演中のお出入りはなるべくご遠慮ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

## 【表紙写真】

〔千手〕片山 幽雪  
 金の星渡辺写真場撮影

## 次回予告

## 京都観世会六月例会

令和2年6月28日(日)

午前11時開演

(能) 賀 茂 浦部 幸裕

(狂言) 茫々頭 善竹 隆司

(能) 班 女 青木 道喜

(能) 野 守 大江 信行

黒頭

## 附 祝 言

(終了予定 四時頃)

## 【お知らせ】

「字幕解説サービス」をご利用いただけます。  
 ご希望の方は専用端末を千円(税込)にて貸出致しますので、事前に事務所にてご予約いただくか、会館入口にて通常通りご希望のお席を当日指定後、字幕受付デスクにてお申込願います。  
 なお申込用紙にご連絡先等の必要事項をご記入いただき、身分証明書(運転免許証・健康保険証等)のご提示をお願い致します。  
 専用端末はお帰りの際に受付にて回収させていただきます。